

技術トレーニング動画字幕

第2部 - "t"バージョンの点検と操作

シーン1

エンバイロテイナ・コンテナは、リースの前に、資格のあるエンバイロテイナ・グラウンド・ハンドラ・ステーションに検査されます。ただし、製品の重要性を考慮して、船荷主あるいはサービスプロバイダも、コンテナの物理的および機能点検を行う必要があります。この"二重検査"では、積み込みの前にコンテナの機能性を保証できます。

サービスプロバイダーは、明白な物理的損傷を確認、およびコンテナが清潔で乾燥した状態で、ラベル、電池、ゴミなどの異物がないように確保しなければなりません。制御装置内では、電池を固定するバネは清潔で良好な状態でなければなりません。

制御装置を見ますと、コンテナが最後に調節された日付を示すステッカーがあります。調節は1年に1回行うべきで、期限が切れたステッカーのコンテナは顧客に渡してはいけません。

コンテナは、ありのままで、ドア、ガスケット、およびラッチが良好な状態でなければなりません。パネルにへこみや擦り傷があっても許容する範囲だが、穴またはアルミパネルを貫く傷があってはなりません。

コンテナ内では、パネルの欠けた所、弛み、穴があってははいけません。ガスケットは良好な状態で、水凝縮ボトルは適切に取り付けてあるべきです。

エンバイロテイナ・グラウンド・ハンドラから破損したコンテナを受け取るべきではありません。既にコンテナを受け取った場合は標準的処置で破損の内容を報告するべきです。

シーン2

物理的な点検の後、機能点検を行い、制御装置、温度自動調節器、およびファンの作動を確認します。

まず、制御装置のドアを開けて"単1"電池を16個取り付けます。コンテナに別の種類のバッテリーを使用しないこと。取り付けした後で、必ず電池は適切な電圧で、正しく取り付けであることを確認します。

新しい電池は少なくとも11ボルトでなければならないが、9ボルト下回ったらすぐ電池を

交換する必要があります。

2-4 2号制御装置の場合は、“開/切”ボタンを押して装置の電源を入れます。“Menu Enter”ボタンを2回押してバッテリーの電圧を確認します。

3-15号制御装置の場合は、“開/切”ボタンを押して装置の電源を入れます。バッテリー電圧はデフォルト画面に表示されます。

シーン3

コンテナの温度を実際の温度より低く設定することによって、ファンが空気を引き入れていること、または空気の誘導と吹き出しを確認します。

2-4 2号制御装置の場合は、“設定”ボタンを押して温度設定を変更します。プラス、マイナスボタンを押して温度を調整して、そしてもう一度“設定”ボタンを押して確認します。

3 - 15号制御装置の場合は、“Enter”ボタンを3回押して温度設定を変更します。アップ（↑）ダウン（↓）ボタンを押して温度を調整して、そしてもう一度“Enter”ボタンを押して確認します。

シーン4

検査の後、積み込みの前にコンテナを指定された温度に設定します。それで、コンテナの調整の準備ができました。

復習

このセクションで学んだことを復習するには：

- コンテナの物理的および機能検査を行います。
- へこみや擦り傷が許容されます。
- 新しいアルカリ電池を使用してバッテリーの電圧を確認します。
- 適切な温度設定を確認します。